

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：近畿地方整備局都市整備課

担当課長名：新階 寛恭

事業名 やまてかんせん 山手幹線	事業区分 街路	事業主体 京都府
起終点 起点：京都府京田辺市大字田辺小字丸山 終点：京都府京田辺市大字新小字山垣外		延長 0.9km
事業概要 本路線は、国道1号（八幡市）から主要地方道八幡木津線（木津町）までの京都府南部地域を結ぶ都市計画道路で、関西文化学術研究都市の各クラスターを結び、また、現府道の八幡木津線の交通渋滞の緩和等を図るとともに、木津川左岸地域の交通ネットワークを構築するものである。		
S57年度事業化	S54年度都市計画決定 (S60年度変更)	S57年度用地着手 H5年度工事着手
全体事業費	5.8億円	事業進捗率 84% 供用済延長 0.6km
計画交通量	15,300台/日	
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 4.0 (残事業)	総費用 (残事業)/(事業全体) /69億円 (事業費：/68.2億円 維持管理費：/0.8億円) 総便益 (残事業)/(事業全体) /277億円 (走行時間短縮便益：/261.7億円 走行費用減少便益：/10.9億円 交通事故減少便益：/4.0億円)
基準年 平成15年		
事業の効果等 ・京都府南部地域の道路ネットワークの構築 ・関西文化学術研究都市の開発支援 ・沿道の良好な都市空間の形成に資する		
関係する地方公共団体等の意見 山手幹線は、地元の京田辺市から整備促進の要望がある。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 人口は増加しており、特に学研地区内の人口増加が著しい。(京田辺市の人口推移 S60国勢調査 48,899人 H12国勢調査 59,577人、交通量の推移 S60 14,301台/12h H11 12,115台/12h 学研地区内内の人口推移 S60 7,146人 H13 31,745人)		
事業の進捗状況、残事業の内容等 H13年度に一部区間(L=610m)について供用済み。今後残用地の買収を進めるとともに道路事業と一体的に整備し同時供用を図る。道路事業区間については、現在用地買収・埋蔵文化財調査等を実施するなど鋭意事業進捗を図っているところである。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 本事業の残区間及び隣接する道路事業において治水対策等の地元調整に時間を要した。		
施設の構造や工法の変更等 建設発生土の他事業への流用やコンクリート2次製品の積極的な使用によりコスト縮減を図る。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 本路線は京都府南部地域と交通ネットワークを形成し、また関西文化学術研究都市を支援する重要な道路であり事業効果も高いと考えられるため、総合的に判断すれば事業を進める。		
事業概要図		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。